授業科目　リスク管理学

【担当教員名】	対象学年	３・４	対象学科	理学（３年）・作業（４年）
能登　真一、泉　良太	開講時期	後期	必修選択	必修
小林　量作、椿　淳裕	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	○	

【概要・一般目標：GIO】

リハビリテーションを開始する際に必要なリスク管理のための知識や技術について，特に十分な注意を払うべき疾患･外傷に的を絞って修得する.

【学習目標・行動目標：SBO】

１．リハビリテーションを実施する際のリスク管理の必要性について述べることができる。
２．モニタリングの方法とラボデータの見方について説明できる。
３．各種疾患患者のリスク管理の方法について概略説明できる。
４．様々な疾患や病態に関心を持ち，それを管理しながら治療するという意欲を身につける。
５．専門職を目指す高い責任感を持ちながら学習することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	院内におけるリスク管理，モニタリング	1,2	講義
2	糖尿病や透析患者のリスク管理	7	講義
3	脳血管障害患者のリスク管理	3	講義
4	加齢によるリスク管理	8	講義
5	転倒，整形疾患におけるリスク管理	8	講義
6	循環器疾患におけるリスク管理	5	講義
7	呼吸器疾患におけるリスク管理	6	講義
8	まとめ	1～8	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席＋定期試験の結果を総合的に判断する	